

講義1「高齢者医療制度の現状と課題」

安中 健 氏 厚生労働省保険局高齢者医療課長

高齢者医療を巡る状況

・ 240年頃に65歳以上人口のピークが到来する

・ 3つの減少段階

第1段階 2025年頃～（老年人口の増加、生産・年少人口減少）

第2段階 2040年頃～（老年人口維持・微減、生産・年少人口減少）

第3段階 2060年頃～（老年人口減少、生産・年少人口減少）

・ 2025年以降、「高齢者の急増」から「現役世代の急減」に局面が変化

・ 東京都区部や中核都市は若干人口の減少が加速化するとともに老年人口は増加する「第1段階」にある。

・ 介護保険認定率（2015年と2021年比較）が3%近く少なくなっている。

フレール予防をする高齢者が増えている。働く高齢者も増えている。

2020年と2070年を比較すると現役世代の人口は約4割減る。

・ 医療・介護の一人当たり保険料・保険料率の見直し。

1号保険料 2018年5900円→2025年6900円→2040年8800円

講義2 「リエイブルメント・サービスで地域を活性化する政策の推進を！」

山口県防府市では、(令和4年4月9月末) 61.3%の要支援者が元の生活を取り戻している。

また、要介護認定率の低下 20.8%→17.7%に。要介護1も低下

もう一つの問題は、介護人材の不足。2040年では69万人が不足する。

生駒市では、短期集中予防サービスの開始後から

- ・ 認定率が低下
- ・ 介護給付費の伸びと高齢化率の伸びが平行

→高齢者人口の増加により給付費全体は現状より減ることはない。

→介護人材不足という課題の軽減につながっている

『所見』

3か月の短期集中リハビリで、要支援者の60%以上が、元の生活に戻れるのを聞き、目から鱗が落ちました。下関市でも取り入れる所が増えてほしいです。

講義3 「地域共生社会とそれを支える人材」

吉田 昌司氏 厚生労働省 社会・援護局福祉基盤課 福祉人材確保対策室長

・小中学校における不登校の状況について

令和3年度児童生徒1,000人当たりの不登校児童生徒数は25.7人（R2年度20.5人）。不登校児童生徒数は9年連続で増加し、過去最多となっている。

自殺者数の年次推移—令和4年の自殺者数は21,881人となり、対前年比874人（約4.2%）増。男女別にみると、男性は13年ぶりの増加、女性は3年連続の増加となっている。



社会保険旬報 地方から考える 社会保障フォーラム

最新の本向をのりて / セミナー開催のご案内



2023年 11月7日(火)

【テーマ】高齢者医療制度の現状と課題 (40分)

安中 健氏

厚生労働省保険局高齢者医療課長

【テーマ】介護・医療・福祉の連携と地域を活性化させる政策の推進 (40分)

中村 一朗氏

一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構政策推進部副部長・国際長寿センター ディレクター、元山口県防府市役所高齢福祉課主幹 (政策担当)

【テーマ】地域共生社会づくりを支える人材

吉田 昌司氏

厚生労働省社会・援護局福祉基盤課 福祉人材確保対策室室長

今回は「高齢者の地域福祉のために今できること」を大きなテーマに、皆様と考えていきたいと思っております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



会場参加
5,000円
消費税別

オンライン
5,000円
消費税別

会場参加: 25,000円(消費税込)・オンライン参加: 5,000円(消費税込)
を10月31日(火)までにお振込みください

<会場参加の方> (貸会議室)AP東京丸の内 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-1-3日本生命丸の内ガーデンタワー3F
TEL: 03-5224-5109 FAX: 03-5224-6109
東京メトロ千代田線・半蔵門線・都営地下鉄三田線「大手町駅」D6出口直結 / 京橋・東京メトロ丸の内線「東京駅」より徒歩6分

<オンライン参加の方> ・当日は Zoomのウェビナー機能を活用したセミナーを受講していただきます。ウェビナーはミーティング機能と異なり、聴講者の方のカメラや音声は通常ではオフになっており、ご質問時のみカメラと音声をオンにできる機能です。PC・タブレット・スマートフォンでご参加いただけます。
・詳しくは事務局にお問い合わせください。

<主催> 地方から考える「社会保障フォーラム」事務局
〒101-0047 東京都千代田区外神田1-5-11 セントラル大手町 901 社会研ディラーレ内
TEL: 03-6379-7772 / FAX: 03-3527-1036

<協力> 社会保険研究所 / 社会保険出版社 / 株式会社フスマック



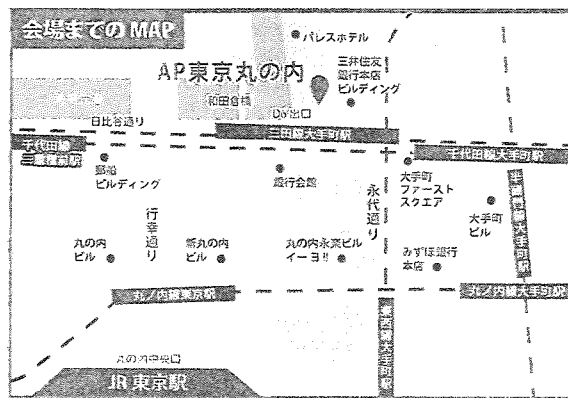
9:50~	受付開始
10:10~	開講の挨拶、オリエンテーション
10:15~11:15	講義1 「高齢者医療制度の現状と課題」(仮題) 安中 健氏 厚生労働省保険局高齢者医療課長
11:15~11:45	討議(30分間)
11:45~12:45	昼休み ※12:30~12:40 講演2 「出版物のご案内と弊社の取り組み」(仮題) 協賛(株)社会保険出版社 金子氏
12:45~12:55	聞いて学ぶ社会保険 「社会保障の動向」(仮題) (株)社会保険研究所 社会保険旬報編集部
12:55~13:00	休憩(5分間)
13:00~14:00	講義2 「リエイブルメント・サービスで地域を活性化する政策の推進を！」 中村 一朗氏 一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構政策推進部副部長・ 国際長寿センター ディレクター、元山口県防府市役所高齢福祉課主幹(政策担当)
14:00~14:30	討議(30分間)
14:30~14:40	休憩(10分間)
14:40~15:40	講義3 「地域共生社会とそれを支える人材」 吉田 昌司氏 厚生労働省社会・援護局福祉基盤課 福祉人材確保対策室室長
15:40~16:10	討議(30分間)
16:10~16:15	終了の挨拶 終了

<後援> **社会保険旬報** — 医療に関わる全ての情報を提供 —

- ・ 医療政策の動向や背景、展望についてわかりやすくお伝えします。
- ・ 介護との連携や年金政策の動きなどもタイムリーに知ることができます。
- ・ 社会保障フォーラムをダイジェストで講師のご講演の要旨と「討議」の概要を掲載。

見本誌をご希望の方、購読のお申込みをしたい方は
(※) 社会保険研究所までご連絡ください。TEL: 03-3252-7901(代)

web版 無料会員募集中! Web **医療と介護** SINCE 1973 **年金時代** media.shaho.co.jp/all



※東京駅から徒歩6分

第29回 地方から考える「社会保障フォーラム」セミナー 参加申込書

お名前	ふりがな はしもせき じゅん 渡辺 敦生	所属委員会 下関市議会
ご住所	〒750-8521 下関市南部町1番1号 下関市社会事務局	電話番号 1083) 231-2414
		FAX (083) 234-5171
参加の ご希望	<input checked="" type="checkbox"/> 会場 <input type="checkbox"/> オンライン (いずれかに○をつけてください)	Eメールアドレス(必須) gkshomuk@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

※ご記入いただいた個人情報は、フォーラムにご参加いただく皆様へのご案内・情報提供の目的に使用させていただきます。管理にあたっては、必要かつ適切な安全管理措置を講じ、漏えい、紛失、毀損または不正アクセス等の防止に努めます。

お申し込み先 FAX **03-3527-1028** または HP <https://tirare.jp/> **セミナーお申し込み** よりお申し込みください。

※お申し込みをいただいた方には事務局から受付完了のメール(アドレス記載のない場合は FAXにて)をお送りいたします。3日経っても届かない場合はご一報ください。事務局からメールが届きましたら、メールに表記の口座へ参加費をお振込みください。オンライン参加の方には追って接続方法を個別にご連絡いたします。

お問い合わせ先 TEL **03-6273-7772** ご不明な点は、左記までお問い合わせください。